4060

松風陶歯製造株式會社概要

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

8060

（一）

名称	松風陶歯製造株式会社
本社	京都市東山区福稲上高松町拾壱番地
工場	仝上
資本金	壹百万圓
払込額	貳拾五万圓也
年産額	陶歯　六百万本　セメント　八万瓶
	ゴム　四万箱　其他略
重役	取締役社長　松風憲二
	取締役　松風嘉定
	仝　齋藤治三郎
	仝　荒木紀男

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(一)

仝　林武彦

監査役　太沢徳太郎

従業員

事務員　男六名　女一名

技術員　男六名

従業員　男八名　女四五名

規模

敷地坪数　八六一坪五九

建物坪数　九八五坪二五

コクヨ印(十三行)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

本社ノ沿革

歯科衛生材料ノ自足自給ハ国民保険上最モ重要ナルベキハ論ヲ俟タザル所ニシテ而モ陶歯ノ如ク東洋人種ニ適応スル歯牙ノ製作ハ東洋人ノ使命ナリト雖モ之亦頗ル至難ノ業ナルト共ニ多大ノ資金ヲ要シ而モ酬ヒラルヽトコロ尠ナキヲ以テ未ダ之ニ着手スルモノナカリシ所故松風嘉定ハ深ク之ヲ遺憾トシ弐拾年前自カラ北米合衆国ニ於ケル各大陶歯製造工場ヲ詳細ニ見学調査ヲナシ数名ノ者ニ命ジテ本邦ニ於テ工場新設ノ場合ノ準備ヲ同地ニ於テ取運バシメタリ。

之レ本社ノ創立ヲ見タル濫觴ナリトス。

後大正七年彼地ヨリ技師ヲ帰朝セシメ松風工業株式会社内ニ陶歯研究所ヲ新設シ故工学博士北村彌一郎氏ヲ陶材ノ主査トシ医学博士小野寅之助氏

0911

(二)

及宇垣錦三代ヲ聘シテ型態ニ関スル理論ト実際ノ研究ニ当リ多大ノ犠牲ヲ払ヒ
遂ニ日本人種型態ヲ完成シ特許ヲ得タル金属ピン焼込ニ成功シ色沢硬度等
ルナカ外国製品ニ優サル良品ヲ製出シ斯界ヨリ多大ノ賞讃ヲ博スルニ至リタリ。
此ノ間実ニ四ケ年ニ及ベリ。
茲ニ於テ大正十一年五月十五日資本金壱百万円ヲ以テ松風陶歯製造株式会社
ヲ設立シ始メテ国産高級陶歯ノ発売ヲ開始セリ
爾来十年余鋭意製品ノ改良ト輸入品防遏トニ腐心シ就中全世界ノ陶歯
製造事業界ノ覇業ヲ企図セル北米合衆国資本家ノ猛烈ナル圧迫ヲ蒙リタル
モ敢然之レニ対抗シ今日ニ於テハ輸入品ノ大半ヲ防遏スルコトヲ得タリ
然ルニ昭和三年創立者松風嘉定死後息憲二之レガ遺業ヲ継承シ
益々品質向上ニ努力シ陶歯ノ外歯科用セメント各種蒸和ゴム等ヲ始メ一般
歯科材料ヲモ発売スルニ至リ殊ニ吾国ニ於テ曾テ製造セラレザリシ硅酸セメントモ

コクヨ印(十二行)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

完成シ大日本歯科医学会及内務省ヨリ多額ノ奨励金ヲ下附セラレ斯界ノ絶讃ヲ蒙ルノ光栄ニ
浴セリ。

吾社ノ光栄

吾社ガ創立セシ時ニ際シ畏クモ
伏見宮殿下ハ旧工場ノ狭隘ナルモ御厭ヒ在ラセラレズ御親シクモ長時間ニ亘リテ御順覧
遊バサレ、昭和四年七月六日ハ東久邇宮殿下ノ御台臨ヲ辱ウシ光栄ニ浴セシニ止マラズ
各主務大臣閣下ノ御視察ヲ受ケ又各種博覧会ニ於テハ出品栄賞ノ名誉ヲ得タリ。

即チ

一、大正拾壱年 東京平和博覧会
一、昭和弐年、 京都市産業博覧会 授 弐等賞銀牌
一、昭和参年 大禮記念國産振興京都博覧会 授金牌

(三)

一、昭和五年　大禮記念国産振興東京博覧会授記念賞

一、一九二八年　於サイゴン大博覧会授名誉賞

一、一九三〇年　於百年祭リエージュ　萬国大博覧会授名誉賞

賜天覧

昭和八年十月三十日　於　京都御所

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

右社所有ノ特許番号

五〇、七三九	低熔陶質架工義歯填塞材料
六三、二九一	陶歯ピン防錆処理法
六七、五四七	合金ピン附陶歯製造法 ― 十三年分納金其後納金セズ
七三、七〇三	摺動式電気抵抗炉
九六、二〇六	歯牙髄腔内ニ注入シ得ヘキ根管内固化充填材

実用新案登録

一五六、三四三	陶歯　（有管陶歯）
一五六、三四四	〃
一五六、三四五	〃　〃

(四)

一六二六九八　陶磁赤青着色加工用坩堝

一六六七三九　陶磁色見本

一七九七一六　ゴム旅用陶磁

意匠登録

九四四八七　小型電気炉ノ形状及模様ノ結合

実用新案登録願

二一六八八　陶磁　（アロイ）

二二六一九　〃　（ラフトピン）

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

社長ノ履歴

学歴

大正六年七月　早稲田大学商科卒業

同年八月　北米合衆国ニ留学

同九年十一月　帰朝

此間　ニューヨーク大学ニテ会計学　ニューヨーク州立アルフレッド大学ニテ社会学　政治経済学、コロンビア大学商科大学院ニテ工場経営学並ニ社会学専攻

尚余暇トシテ　ニューヨーク電気学校ヲ卒業ス

経歴

大正九年二月　松尾工業株式会社ニ入社ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(五)

仝年三月 仝会社支配人ヲ被命

仝年仝月 松風陶歯研究所監督ヲ被命

大正十一年十二月 松風陶歯製造株式会社ノ創立ト仝時ニ取締役理事

ニ就任ス

昭和三年一月 仝前社長死去ノ為メ取締役社長ニ就任今日ニ至ル

昭和五年四月 東京歯科医学専門学校講師ヲ被命 材料学ヲ担任ス

仝年九月 日本大学歯科部講師ヲ被命 材料学ヲ担任ス

昭和六年六月 日本歯科材料協会ヲ設立 常務理事ニ選挙セラル

仝年仝月 内務省薬業振興会歯科材料小委員ニ任命サル

昭和七年四月 日本歯科材料協会ニ理事長ヲ置ク事トナリ仝時ニ理事長

ニ選挙セラル

仝年十月 内務省薬業振興会調査委員ニ任命サル

コクヨ印(十二行)

昭和八年四月　社団法人日本歯科材料協会理事長ニ就任ス

全年全月　内務省ノ補助金ヲ得テ社団法人日本歯科材料協会内ニ
歯科材料規格調査委員会ヲ組織シ委員及ビ
幹事長ニ就任ス

重ナル技術者

工場長　並川峰三郎

技師長　荒木紀男

製作部　技師　布江市松

全　窯業　廣野直基

研究部　応用化学技師　宮津　一

技師　仝　仝　水埜　文平

工場ノ現状

工場設備大要

調土部　スタンパー　一台

ポットミル　三台

成形部　攪拌機　二台

棚板切断機　一台

十七キロ乾燥器　一台

六キロ乾燥器　一台

コクヨ印（十二行）

窯部
石油焼成炉　三基
石炭焼成炉　一基
ボイラー　一基
鉄工部
旋盤　二台
ボーリングマシン　四台
ミーリングマシン　一台
セーパー　一台
ターレットレース　一台
貴金属部
自働製函機

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(七)

練ローラー　一台

伸金装置　一台

圧延ローラー　一台

ゴム工場

急速停止機　一台

煉和機　一台

カレンダー　一台

チューブミル　一台

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

本社主要製品ノ種類

松尾陶歯 各種

松尾セメント （燐酸セメント）

松尾仮封セメント

松尾シリケート （硅酸セメント）

松尾歯科用ゴム 各種

特許松尾コンポヂー （根管充填材）

特許松尾メヂレール （一般琺瑯質及裏装材 特殊歯ノ歯間充填材）

松尾ミネラルスティン

松尾耐酸ポーラ

松尾キャスチングパウダー （粗粉末埋没材）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（八）

松風ＯＫパウダー（粗密中間未埋没材）
松風ペンディングマテリアル（模型粉末埋没材）
松風アマルガム合金
松風カッパーアマルガム
松風ホワトメタル
松風キャスタル
松風実習用メタル各種
松風カーボランダムポイント
松風カーボペースト（研磨助材）
松風モルデイン（印像材）
松風ナニーカップ
松風ルボパッカー

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

松岡電氣爐　特高　高中　低熔

松岡グレジングファーネス　低熔

松岡ポリッシャー　（研磨材）

松岡ストッピング

松岡ベースプレート

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

陶歯トハ

元来義歯ナルモノハ古ク エジプト 時代ニ於テ其端ヲ発シ 此時ハ材料ハ木、骨牙等ニテ造ラレテ居ツタガ今ヨリ百五十年前陶磁器デ造ラタ天然色ニ近イモノガ仏国ニ於テ製造サレテ以来他ノ何レノモノヨリ優秀ナルガタメ今デハ義歯トイヘバ陶歯ナリトセラル、ホド普遍的ニナツタ。今ヨリ約百年前 北米合衆国 フヒラデルヒア ニ於テ サムエル エス ホワイト氏 ガ大量製産ヲナシ 市品トシテ 市場ニ販売スルニ至ッテ陶歯ハ一般的ニ使用スルニ至リ現在同氏ノ名ヲ冠セル ホワイト 会社ハ益々進歩シテ其業績ヲ以テ全世界ニ普及品ヲ供給シテ居ル。

近世ニ至ッテ ニューヨーク ニ デンタルス サプライ コンパニー ガ創立サレ陶歯ノ形態上更ニ研究ヲ進メ同ジク エス エス ホワイト ニ対抗シテ寧ロ優良ナル陶歯ヲ製作スルニ至ッタ。

欧州ニ於テハ 英国ノ アッシュ エンド ソン 其他 仏国ニモ アッタガ何レモ サプライ コンパニー

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ實收スルトコロトナツテヰル。
我國ニ於テハ明治初年以來ソノ製造ガ行ハレテヰルガ其性格今尚幼稚ニシテ到底
外國品ト競爭シ得ルモノデナカツタ。コレハ陶齒ノ形成ガ微細ニ研究スレバ極メテ多
種多樣ノモノニ別チ研究セネバナラナイノト莫大ノ資力ト時日ヲ要スルガ故ニ
我國ノ陶齒ガ只白イトシテ齒ノ形態ヲ備フルダケデ外國品ガ製作サレナカツ
所以デアル。即チ陶齒ヲ口腔内ニ取付ケルピンヲ燒キ付ケルタメニハ陶齒燒結
火度ガ相當高度ナルガ故ニコレト同温度ニ燒成スルモ變化セザル金屬
ヲ要シ高價ニナル缺點ガアル。又天然齒ヲ彷彿タラシムルガタメニハソノ透明度、色ノ
變化、光線ノ反射等今迄我國ニ於テ經驗サナカツタ研究項目ガアリ、ソノホカ原料
醫學上ヨリシテ人種的ニ骨格的ニ各人ノ適合ヲ考慮シ、シカモ天然齒ト機械的ニ
於テ何等異ル上コロナキ強度ヲ有スル等コレ等ノ要件ヲ具備シナケレバナラナイ
一個ノ小サナ陶齒ハ實ニ近代的科學ノ貴重ナル産物ト云ハナケレバナラン。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0927

（十）

一、医学的価値

齲歯ナベルニ眞ニ口ハ万病ノ門デアリ人体保善保険ノ第一関門ハ歯デアル

即チ不健康ナル歯ニ起因シテ胃腸ノ失患ノ原因ヲ来ス事少ナカラズ 別チハ

ソノ健康ハ状態ニ密接ナル関係ヲ有スルモノデアル 而シテ斯クノ如キ歯牙ノ

欠除ヲ補ヒ天然ノ咀嚼力ヲ恢復セントスル場合 陶歯ハ重要ナル役目ヲ司ル

モノデアッテ 歯科補綴上必要ナル材料品デアル

斯ク繁ク表ル時ハ 陶歯ハ単ニ工業的重要ナルノミナラズ 衛生材料トシテ

国ノ国民保健上是非共コレガ完成ヲ期シ 自給自足スベキモノデアルト云ハナケ

レバナラヌ 欧州大戦ニ際シテハ舶来品ノ輸入意ノ如クナラズ 当時歯科大ナ

ル状態ヲ具ニ経験シタル其ノ記憶ハ未ダ新ラシキ処デアル

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

陶器事業ノ現状

陶器工業ハ人類ノ存スル限リ需要ガアリ而モ他ノ商品ト異リ流行ノ盛衰ナク更ニ形ニ於テ小サク重量ニ於テ軽キガ故ニ破毀腐敗ノ恐レナク要樣大ナル關税ノ制限セザル限リ小包便ヲ以テ世界何レノ端ニモ郵送シ得ヘク實ニ貿易的ノ商品トスルニ最モ優レルノデアル

茲ニ於テアメリカ資本家ハ世界ニ於ケル陶器工場ヲ買収スル倫コトニ依リ独占的製造ヲ貪ラント劃策シ英仏独ノ工場ノ買収或ハ支配權ヲ獲得スルニ成功シ内ニアリテハ各内地製造工場ヲ買収シ全世界ヲ悉ク彼等ノ支配下トシ盡サント独占シテ優秀ナル陶器ヲ供給スルハ我邦ノ陶器ノミトナッタノデアル

コヽニ於テ本社ハ事業ハ必ズシモ大ナラズト云ヘドモ米國ノモルガンホワイト第二デアルサガラノ次ニアリ世界ニ於ケル陶器會社中ノ一トシテ認メラレテ居ル

即チ前記ノ系統ニ属スル各種製造會社ハ其原料資金ヲ属セシ並ニ構

(十一)

學型工業ハ現會社名ヲ米國ヨリ受ケテヰルガ提携セヨ行ニ退ケナイデアルガ
樹同陶器ニ就テハ學型工ト共ニ陶材ノ製造ノ總テヲ自社デ行ヒ、アルヲ以テ
米國ニ於ケル永ノ指導ヲ脱セントスルモノトモ數年前ヨリ當社ノ買収ヲ劃策シツヽアル
事アルガ當社ハ其ノ社ノ主義ヨリシテ斷然拒絶シ之ヲ権利ナシ他人ニ讓ル事ナク
自給自足ノ更ツ全シテ國民保健ノタメニハ貢献セントスル前社長ノ精神ヲ
体シ買収ニ伴フ事権ヲ脱トシ彼等ノ不當ナ要求ニ敢然抗争シ彼等ノ軍門
ニ降ル事ナク益々食品ノ製造ト共ニ輸出ニ精進シテヰル。

コクヨ印(十二行)

製品ノ特徴

① S.A.P 陶歯

工場ニ於テ各異リタル種類ヲ集ムルモ約六万ヲ越エントスルノデアル
コノ多ノ陶歯類ヲ前歯臼歯、此類ト顎等ニ大別シ更ニ前歯臼歯ヲ別ケ
ソノ大小異ルモノヲ約三百種シ各種ノ形態ニ対シテ色ヲ異ニスル事約二十種類
コレヲ綜メテ如何ナル人種、型、色タリトモ整然ト標準化シ色型ヲ揃ヘ得テ
シテ以テ仕事ノ陶歯ヲ得ルニ至ラシメタル
今其ノ種類ヲ挙グレバ

(イ) 金床用陶歯 ― 歯ノ裏面ニ白金合金（ポイントピン）ヲ焼キ植エラレ コノピンニ 金ヲ蝋着シテ固的ニ適スルモノ

(ロ) ゴム床用陶歯 ― アンカーピン付陶歯（前臼歯） リブアンカー陶歯（前臼歯） ダイアトリック陶歯 ― ゴム或ハ同程類ノ

0931

（十三）

コンパウンドニ依ッテ床ヲ作リ保持スルモノ
ポストクラウン（前歯）ケヨーブ陶歯（臼歯）金及其合金又ハゴム等ノ何レニデモ併用シ得ルモノ

(ハ) 可撤陶歯 ―

② 松風歯科用燐酸セメント

本品ハ陶歯並ニ歯科用ゴムト共ニ歯科三大材料トシテ認メヲルモノハ従来ニ三ノ製造業者ガ我国ニモアッタガ其ノ需要額ノ九十パーセントハ米国品ノ輸入ヲ仰ギツヽアッタモノデ当社ハ已ムナクヨリコレニ着目シ創立ト同時ニ研究ニ着手シ苦心ノ結果四ケ年前ヨリ販売ナシ居ルモノデアル 華麗ニシテ優秀ニシテ廉価ナルガ故ニ一般ノ歓迎ヲ受ケ遂ニ外品ヲシテ国内ノ約半数ノ需要ヲ代セントスル業勢ヲ示シテ居ル セメントハ機械的ニ優秀ナルベキモノハ勿論デアルガ本品ハ昭和六年春米国ニ於テ彼地ノ帰京ノ実験スルトコロトナリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

各種ノ点ニ於テ米国品ニ比シテ遜色ナキ優秀ナモノト認メラレ松風陶歯ト共ニ広ク愛用セラレツヽアリ

⑶ 松風歯科用ゴム

本品モ亦歯科ニ大ナル材料ノ一ツニシテ吾国需要ノ大部ハ悉クコレヲ海外ヨリノ輸入ニ仰ギツヽアルノ状態ヲ鑑ミ数年前ヨリ独逸有数ノ護謨業者ニシテ又実際家タル某氏ニ委嘱研究中ノ処昨年愈々ノ完成ト共ニ同氏指導ノモトニ最新ノ設備ヲ了シ更ニ二十年ノ実地経験ヲ有スルゴム製造技師ノ手ニ依テ製造セラレ故ヨリ本品ハ其ノ完全ナル施設ニ近代化学ノ粋ヲ集メ理化学的ニ実験ノミナラズ臨床的ニモ優秀ナルコトヲ確セラレ而モ他品ヨリ低廉ナル点ハ斯界ノ好評ヲ博シツヽアリ而設備ニ於テハ吾国需要ヲ一手ニ引受ケ得ルベキ規模ヲ有シテヰル

⑷ 松風歯科用電気炉

(十三)

本品ハ既製陶齒ニテ若クハ不満ヲ感ズル場合又ハ特ニ作ラセラレタル場合等ニ臨床家ガ任意ノ陶齒ヲ燒成スル簡單ナル電氣爐デアル

從來ノ外國品ハ甚ダ高價デアツタガ僅カニ二百五十圓ノ廉價ヲ以ツテ販賣セル而カモ其ノ機能ハ外國品ノ進追從ヲ許サザル優良ナルモノデアル

コレニ附隨シタル陶材ハ高中低ノ三種アリ加フルニ着色剤ヲ以ツテシ極メテ簡單ニ任意ノ陶齒ヲ燒成シ得ルノデアル

コクヨ印(十二行)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

現在ノ販路

国産ノ権威ハ遂ニ輸入品ヲ圧倒シテ海外ニ進出ス

即チ

中華民国 仏領印度支那 南洋諸島 土耳古

埃及 馬尼刺 伯剌西爾 墨其西哥 仏蘭西

和蘭 シリア シヤム 瑞西 白耳義 英吉利

北米合衆国 其他

以上

(高)

コクヨ印（十二行）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0936

昭和八年十一月

松風陶歯製造株式會社定款

京都市東山區福稲上高松町十一番地
松風陶歯製造株式會社

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0338
0937

松風陶齒製造株式會社定款

第一章　總　則

第一條　當會社ハ松風陶齒製造株式會社ト稱ス

第二條　當會社ハ京都市ニ本店ヲ設置ス

但シ重役會ノ決議ニ依リ支店出張所ヲ內外國樞要ノ地ニ設置スルコトヲ得

第三條　當會社ハ左ノ營業ヲ目的トス

陶齒並齒科材料及ビ藥品並ニ一般口腔用品ノ製造販賣及ビ齒科材料ノ輸出入

第四條　當會社ノ資本金總額ヲ金壹百萬圓トス

第五條　當會社ノ存立期限ヲ滿五十ケ年トス

第六條　當會社ニ於テ法令又ハ定款ノ規定ニ依リテ爲スベキ公告ハ本店所在地ニ於

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0938

ケル裁判所ノ公示スル新聞紙ニ掲載ス

第二章　株式

第七條　當會社ノ株式ハ一株金五拾圓トシ其ノ總數ヲ貳萬株トス

第八條　當會社ノ株式ハ拾株券、五拾株券ノ二種トス

第九條　當會社ハ第一回拂込金トシテ金拾貳圓五拾錢ヲ拂込マシメ第二回以後ノ拂込金額及拂込期日場所ハ必要ニ應シ其ノ都度取締役會ノ決議ヲ經テ少クトモ三十日以前ニ催告ヲ以テ各株主ニ通知スベシ

第十條　當會社ノ株券ハ記名式トス

第十一條　當會社ハ株金拂込期日迄ニ其ノ拂込ヲ爲サヾルモノアルトキハ其ノ拂込ムベキ金額ニ對シ其ノ拂込期日ノ翌日ヨリ現實ノ拂込日迄金百圓ニ付日歩金四錢ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徴收スベシ

第十二條　當會社ノ株式ハ取締役會ノ同意アルニアラザレバ之レガ質入レ又ハ讓渡ス

ルコトヲ得ズ

當會社ノ株式名義書換ヲ請求セムトスルトキハ當會社所定ノ名義書換請求書ニ當事者双方署名捺印ノ上其ノ株券ヲ添ヘ當會社ニ差出スベシ

相續遺贈又ハ裁判所ノ判決競賣其ノ他法律ノ作用ニ依リテ當會社ノ株式ヲ取得シタルモノ若ハ氏名ノ變更ニ依リ株券ノ更正ヲ請求セムトスルモノハ其ノ事實ヲ證明シテ前項ニ準ジ名義書換ヲ請求スベシ

第十三條　當會社ノ株券ヲ亡失若ハ盗取セラレタル場合ニ於テ新株券ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ當會社ノ滿足スル二名以上ノ保證人ヲ立テ請求スベシ、當會社ハ請求者ノ費用ヲ以テ三日以内ニ其ノ旨ヲ公告シ六十日ヲ經過シ發見セザルトキハ新株券ヲ交付スベシ

本條ノ株券ニ關シ第一項ノ期間内ニ故障ノ申立ヲ爲スモノアルトキハ當會社ハ裁判所ノ判決ニ依ルニアラザレバ新株券ヲ交付セザルベシ

第十四條　當會社ノ株券ヲ汚染若ハ毀損シタル場合ニ於テ新株券ノ交付ヲ請求セムト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0940

スルトキハ請求書ニ其ノ株券ヲ添ヘテ差出スベシ、若シ其ノ株券眞否ニ付疑アルトキハ前條ニ準シ其ノ手續ヲ盡シタル後ニアラザレバ交付セザルベシ

第十五條　株主ハ住所氏名及印鑑ヲ當會社ニ屆出ヅベシ、其ノ變更アリタルトキ亦同ジ、若シ之レヲ爲サヾルトキハ法律規定ノ如何ニ拘ラズ當會社ハ其ノ株主ニ對スル通知催告ノ責ニ任セズ

外國居住ノ株主ハ日本國内ニ假住所又ハ代理人ヲ定メ當會社ニ屆出ヅベシ若シ之レヲ爲サヾルトキハ本條第一項ノ規定ヲ準用ス

株主ニシテ法定代理人アルトキハ其ノ代理人ハ住所氏名印鑑ニ代理權ヲ證スル公正ノ書面ヲ添ヘ之ヲ當會社ニ差出スベシ其ノ變更ノ場合モ亦同シ

第十六條　當會社ハ株式名義變更ノ場合ニハ手數料トシテ株券一通ニ付金貳拾錢新株券交付ノ場合ニ於テハ金五拾錢ヲ請求者ヨリ徴收スベシ

第十七條　當會社ハ定時株主總會前三十日以内株式ノ權利移轉ニ關スル名義書換ヲ停

0941

止ス

臨時株主總會ノ場合モ前項ニ準シ株式名義書換ヲ停止スルコトヲ得此場合ニ於テハ豫メ其旨ヲ公告スヘシ

第三章　株主總會

第十八條　定時總會ハ毎年五月及十一月ノ兩期ニ於テ之レヲ招集スルモノトス

第十九條　株主總會ニ於ケル議長ノ職務ハ社長又ハ專務取締役之ヲ行フ

若シ差支ヘアルトキハ他ノ取締役之レヲ行フ其ノ全員事故アルトキハ出席株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十條　株主ハ當會社ノ株主ヲ代理人トシテ其ノ議決權及選擧權ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十一條　各株主ノ議決權及選擧權ハ其ノ所有株數一株ニ付一個宛トス

第二十二條　株主總會ニ於テ決議シタル事項ハ其ノ要領ヲ決議錄ニ記載シ議長及出席取

締役並株主三名以上署名捺印スベシ

第四章　役員

第二十三條　取締役ハ七名以下監査役ハ三名以下トシ取締役ハ當會社ノ株式五百株以上ヲ監査役ハ二百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十四條　取締役及監査役ノ選擧ハ記名投票ニヨリ各得點者中最高點ノ順序ヲ以テ當選者ヲ定ム

株主總會ニ於テ出席株主ノ有スル權利數ノ過半數ノ同意アルトキハ其ノ選擧ハ記名投票ニ代フルニ他ノ便宜方法ニ依ルコトヲ得

第二十五條　取締役ノ任期ハ三箇年トシ監査役ノ任期ハ二箇年トス

但シ其任期ガ任期中ノ最終ノ配當期ニ關スル定時總會ノ終結前ニ滿了スルトキハ其ノ終結ニ至ル迄之ヲ延長スルモノトス

第二十六條　取締役ハ其ノ所有ニ係ル當會社ノ株式參百株ニ對スル株券ヲ監査役ニ供託

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

スベシ

前項ノ株券ハ其ノ供託者退任スト雖モ其ノ事業年度内ニ於ケル諸報告及諸計算ニ就キ株主總會ノ承認ヲ得タル後ニ非ザレバ之ヲ返付セズ

第二十七條　取締役中互選ヲ以テ社長一名及專務取締役若干名ヲ定メ當會社ノ事務執行ヲ專任セシムルコトヲ得

左ニ記載シタル事項ニ付テハ緊急ヲ要スル場合ノ外取締役會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

一、支配人ノ選任及解任

二、總會ノ招集及其ノ議ニ付スベキ議案

三、前各號ノ外重大ナル事項

第二十八條　取締役又ハ監査役ニ缺員ヲ生ジタルトキハ總會ニ於テ之ガ補缺選擧ヲ行フモノトス其ノ取締役ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

但シ法定ノ員數ヲ缺カザル場合ニ於テハ取締役會ノ決議ニ依リ補缺選擧

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0944

ヲナサヾルコトヲ得

第二十九條　取締役會ハ必要アル毎ニ社長又ハ專務取締役之ヲ招集ス

取締役會ハ取締役半數以上出席シ過半數ヲ以テ決議ヲ爲ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

社長又ハ專務取締役ハ取締役會ノ議長トナル

取締役會ニ於テ必要ト認ムルトキハ監査役ヲシテ之ニ參加セシムルコトヲ得

第三十條　當會社ハ取締役會ニ於テ必要ト認ムルトキハ相談役及顧問ヲ囑託シ業務執行上重大ナル事件ヲ諮問ス

第三十一條　取締役監査役ニハ給料又ハ報酬ヲ給ス其ノ額ハ株主總會ニ於テ之ヲ定ム

相談役及顧問ニハ取締役會ノ決議ニ依リ相當ノ報酬ヲ給スルコトヲ得

第五章　計算

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三十二條　當會社事業年度ハ一年ヲ二期ニ分チ五月ヨリ同年十月迄ヲ上期トシ十一月ヨリ翌年四月迄ヲ下期トス

第三十三條　毎期ノ終リニ於テ其期間ニ收入シタル總金額ヨリ左ノ營業上ニ係ル各號總支出金額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ純益金トス

但シ前期繰越金ハ損益共之ヲ加除シテ當該期間ノ決算ヲナス

一、製　造　費

二、營　業　費

三、社債及諸借入金利子

第三十四條　純益金ヨリ左ノ各號ヲ控除シ殘餘ヲ株主配當金トス

一、法定準備積立金　　純益金高二十分ノ一以上

二、役員賞與金　　純益金高十分ノ一以内

但シ計算ノ都合ニ依リ本項積立金ノ外各種ノ積立金ヲナシ又ハ純益金全部若クハ一部ヲ次期繰越金ト爲スコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三十五條　株主カ利益配當金ヲ滿三箇年間會社ヨリ受取ラサルトキハ會社ハ之ヲ自己ニ取得スルコトヲ得ルモノトス

第六章　附則

第三十六條　本定款ニ規定セサル事項ニ付テハ凡テ法令ノ規定ニ從フモノトス

第三十七條　本社ノ設立費用ヲ金貳千圓トス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

自昭和八年五月一日
至昭和八年十月卅一日

第貳拾參期營業報告書

松風陶歯製造株式會社

0947

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第貳拾參期營業報告書

京都市東山區福稻上高松町拾壹番地

松風陶齒製造株式會社

昭和八年五月一日ヨリ昭和八年十月三十一日ニ至ル第貳拾參期營業年度間ノ成績ヲ蒐集シ茲ニ之レヲ報告ス

株主總會

一、昭和八年五月二十六日本社ニ於テ第貳拾貳期株主總會ヲ開キ第貳拾貳期營業報告書、財産目錄、貸借對照表、損益計算書ノ報告承認ヲ經テ利益金處分案ヲ原案通リ決議セリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0949

株式ニ關スル事項

一、本期間ニ於テ株式名儀書換ヲナシタルモノ二名、其ノ株數二百株ニシテ現在株主四拾四名ナリ

營業ノ概況

當期ニ於ケル營業ノ概況ハ大體ニ於テ良好ト謂フ可キモノデアリマシテ、賣上高ニ於キマシテモ創立以來最高ノ記錄ヲ示ス事ヲ得タノデアリマス。從ツテ資產ノ內容ハ益々健實味ヲ加ヘマシタ。

吾社ニ對スル世間ノ信用モ亦極メテ厚ク御同慶ニ堪エマセヌ。之ハ吾社製品ノ優良ナルニ基因スルモノデアリマシテ、陶齒類、**セメント**類、**ゴム**類、ハ最モ好評ヲ博シテ居ル物デアリマス。之等ノ主要材料品中ニアリテ雜品類モ亦良ク補助的使命ヲ果シテ

アジア歷史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

居リマス。茲ニ於キマシテ研究室ヲ擴張シテ品質ノ向上ト新品ノ研究ニ便スル事ト致シマシタ。之ハ充分御期待ヲ願エル事ト存ジマス。

幸イ當期ハ無事經過致シマシタガ前途ハ遼遠デアリマス。何卒充分ノ御理解ヲ以テ御後援アラン事ヲ切望致シマス。

貸借對照表

借方

未拂込株金	一金七拾五萬圓也
現金及諸預金	一金八千八百九拾八圓六拾八錢也
地所及建物	一金七萬壹千貳百拾九圓六拾六錢也
備品	一金六千壹圓壹錢也
機械及器具	一金五萬壹千參百七拾四圓八拾四錢也
窯爐	一金四千百五拾七圓九拾參錢也
モールド	一金四萬七千七百四拾圓也
研究費	一金七千圓也

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一金貳千七拾九圓九拾八錢也	假拂金
一金參萬八千百九拾六圓六拾七錢也	掛賣金
一金四千貳百七拾貳圓貳錢也	受取手形
一金四萬千八百七拾貳圓九拾貳錢也	商品
一金六千七百八拾四圓參拾五錢也	委託商品
一金四千七百七拾六圓八拾參錢也	半製品
一金壹萬七百九拾四圓四拾五錢也	貯藏物品

合計　金壹百五萬五千百六拾九圓參拾四錢也

貸方

一金壹百萬圓也	資本金
一金貳萬五千五百貳拾參圓拾參錢也	假受金

0953
0028

一金五百七拾八圓八拾貳錢也　掛買金
一金五千百九拾貳圓拾六錢也　繰越金
一金參千四百圓也　法定積立金
一金四千百圓也　別途積立金
一金壹萬六千參百七拾五圓貳拾參錢也　當期利益金

合計　金壹百五萬五千百六拾九圓參拾四錢也

財産目録

財産目録ハ貸借對照表ノ借方ハ資産ト、貸方ハ負債ト同一ニツキ之レヲ省略ス

損益計算書

一金壹萬六千參百七拾五圓貳拾參錢也　當期利益金

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

利益金處分

一金壹萬六千參百七拾五圓貳拾參錢也　當期利益金

一金五千壹百九拾貳圓拾六錢也　前期繰越金

合計　金貳萬千五百六拾七圓參拾九錢也

內

一金貳千圓也　機械及器具消却金

一金貳千圓也　研究費消却金

一金貳千圓也　モルド消却金

差引　金壹萬五千五百六拾七圓參拾九錢也　純益金

內

一金八百圓也　法定積立金

一金壹千五百圓也　　別途積立金

一金壹千貳百圓也　　役員賞與金

一金六千貳百五拾圓也　　株主配當金（年五分）

一金五千八百拾七圓參拾九錢也　　後期繰越金

右之通リニ候也

昭和八年十一月

松風陶歯製造株式會社

取締役社長　松風憲二

取締役　松風嘉定

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

同　瀧藤治三郎

同　荒木紀男

同　林武彦

前記ノ各項ヲ調査シ正確ナルコトヲ承認候也

監査役　大澤徳太郎

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/